

緑の風

JR東労組
NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年12月25日 No.83

羽越本線列車脱線事故 から17年

安全レベルの低下とも言える事象が
相次ぐ中、問題点を放置せず、
職場から声を上げよう！

中央本部・新潟地本・本部運輸車両部会では、毎年12月25日に現地に立って慰霊を行ってききましたが、今年については庄内地方での暴風雪に踏まえ、現地での慰霊を見合わせる事となりました。(写真は昨年の様子)

12月25日、5名のお客さまが亡くなり、お客さま31名と乗務員2名が負傷した「羽越本線列車脱線事故」から17年を迎えました。

私たちはこの間、会社の運行優先体質に向き合い、「危険と感じたら列車を止める」ために勇気を持って実践することを議論し、安全に対して妥協しない意志を固めてきました。

しかし昨今、乗務員・駅職場では、要員不足の中で、教育訓練が十分とは言い難い状況で不慣れ・久しぶりの運転関係業務に就かせる事象が発生したり、メンテナンス職場では作業員の感電受傷や、軌道状態の不良から脱線につながりかねない事象、移動中の交通死亡事故や線路閉鎖の取り扱い誤りなど、安全に関わる事象が相次いでいます。

責任追及への回帰とも取れる動きも見られる中、運行優先になっていると言わざるを得ない体質に危機感を持ち、安全最優先の風土を再確立するため、職場から声を上げましょう！

「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を再確立し、
経営のチェック機能として安全を守るJR東労組に結集しよう！